

第 36 期決算公告

平成 26 年 12 月 4 日

福岡県福岡市博多区上呉服町 12-33
株式会社リサーチアンドソリューション
代表取締役社長 美濃部 直樹

貸借対照表

(平成 26 年 9 月 30 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科目	金額	科目	金額
流 動 資 産	470,054	流 動 負 債	373,342
現金及び預金	28,328	業務未払金	80,763
完成業務未収入金	369,310	短期借入金	35,000
未成業務支出金	6,251	未払金	23,687
前払費用	17,165	未払費用	22,247
繰延税金資産	33,874	未払法人税等	23,960
未収入金	6,389	未払消費税等	32,159
立替金	8,273	預り金	11,591
その他	2,324	未成業務受入金	69,852
貸倒引当金	△1,864	賞与引当金	22
		業務損失引当金	74,057
固 定 資 産	231,140	固 定 負 債	65,247
有 形 固 定 資 産	194,292	退職給付引当金	58,825
建物	68,460	役員退職給付引当金	1,790
器具備品	5,321	リース債務	4,631
土地	116,208		
リース資産	4,302	負 債 合 計	438,590
		純 資 産 の 部	
無 形 固 定 資 産	2,242	株 主 資 本	262,567
ソフトウェア	1,090	資本金	10,000
電話加入権	1,152	資本準備金	10,000
		利益剰余金	242,567
投資その他の資産	34,605	利益準備金	1,147
投資有価証券	1,408	その他利益剰余金	241,420
差入保証金	11,334	繰越利益剰余金	241,420
繰延税金資産	21,831		
破産更正債権	5,759	評価・換算差額等	37
その他	31	その他有価証券評価差	37
貸倒引当金	△5,759	純 資 産 合 計	262,604
資 産 合 計	701,194	負債純資産 合計	701,194

・付記事項

当期純利益金額 33,068 千円

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）によっております。

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

主として総平均法による原価法（貸借対照表額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）によっております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）……定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）については、定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	15～50年
機械及び装置	15年
車両運搬具	6年
器具備品	3～15年

(2) 無形固定資産……定額法

なお、ソフトウェア(自社利用)については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

(3) リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年9月30日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額のうち当事業年度の負担額を計上しております。

(3) 業務損失引当金

業務契約に係る将来の損失に備えるため、当事業年度末における業務契約に係る損失見込額を計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

(5) 役員退職給付引当金

役員の退職給付金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

収益の計上基準

原則として完成基準を採用しておりますが、工期が3ヶ月を超え、かつ受注金額が100万円以上の業務については、工事進行基準を採用しております。

5. 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

6. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。